

子どもの問題 多角的に

「文化会議沖繩集会」まで1カ月

子どもを取り巻く問題を考える「第55回子どもを守る文化会議沖繩集会」(3月21、22日)まで、あと30日と迫った。沖繩大学で開かれる講演やシンポジウムなどの全体会や16分科会の内容が固まっている。

講演など内容固まる

初日の21日は「宮森小学校 ジェット機墜落事故から半世紀」と題した平良嘉男同小学校長の講演と、シンポジウム「子どもたちを通して見えてきた『沖繩』」が行われる。

パネリストは與座初美さん(県ファミリースポーツセンター連絡協議会会長)、山内優子さん(元児童相談所所長)、知花聡さん(県学童保育連絡協議会会長)、田嶋正雄沖繩タイムズ記者、新崎盛暉沖繩大理事長が務め、吉葉

研司琉球大准教授がコーディネーター。2日目の22日は、分科会のほか、世取山洋介新潟大准教授が「子どもの権利条約実現に向けて国連へのNGOレポート提出報告」を行う。集会への参加申し込みは、同実行委員会ホームページ(H.P.)から、ファクスで問い合わせは同沖繩実行委員会、電話098(833)7311。H.Pは、http://www.kodomo.libre-okinawa.com/

課題解決の契機に

加藤沖大教授が提言



加藤彰彦教授

子どもを守る文化会議の実

行委員会副代表を務める加藤彰彦沖繩大教授に、会議の意義や内容を聞いた。

「聞き手」社会部・安里真己(沖繩)で子どもの文化会議を開くことの意味は、

沖繩県内でも子どもに関係した多くの団体があり、それぞれ課題に取り組んできたが、実現できずに苦しんでいた。互いに外に向かって交流してみると、共通の課題が分

ではないかということも見えてきた。今回の文化会議で終わるのではなく、これを契機に子どもの問題について考える場を県内で持続的につくりていきたい。

「日本やアメリカに追いつけ」ではなく、沖繩発の子育ての思想や文化をつくるきっかけにしたい。

―会議の内容は、

全体会議では、うるま市立宮森小学校と地域の実践を取り上げる。50年前の米軍ジェット機墜落事故当時の児童で、現在は同校長の平良嘉男さんだけでなく当時の教員が話したり、今の子どもたちも登場したりしてもらう予定だ。事故を過去の悲劇として

だけでなく、それを今の地域の子育てにつなげる取り組みを立体的に紹介したい。ようやく重い口を開いた被害者が、次の世代に何を残さないでいくのかを考える。

シンポジウムは、子どもの目線では現代はどんな時代か見たい。直接子どもにかかわる人と、ある程度客観的に俯瞰してみる人をパネリストに招き、厳しい現実と今後の可能性を考え、議論したい。

また、「子どもの権利条約」

実現に向けて日本のNGOレポートについて特別報告を行い、人権の視点から子どもをとらえる。

分科会は16あり、子どもに関するほとんどの分野を網羅した。子どもに関心のある人ならいずれかに参加できると思う。多くの人に足を運んでもらい、子どものことについて語り合いたい。

―文化会議後は、

議論をまとめた報告書を作成、県や国に届けて、政策に反映させるように働き掛けた。政治に動きがある今がチャンス。沖繩の子どものために何が必要か、沖繩から提案し、子育てを中心に社会をつくり直す時代にはと思っています。

分科会と県内世話人 (敬称略)

- ①乳幼児の保育と子育て
▷ウィンフィールドひろみ(グッピー保育園園長)
- ②子どものからだと心を育てる
▷山城眞紀子(沖繩キリスト教短期大学)
- ③子どもの生活と食生活
▷下地洋子(沖繩県栄養士会会長)
- ④子どもと貧困・格差社会
▷山内優子(元児童相談所所長)
- ⑤子どもと地域・環境
▷山城康代(NPO法人りんく・いしかわ代表)
- ⑥子どもと自治体
▷鈴木友一郎(沖繩市子育て勉強会)
- ⑦子どもに豊かな文化を
▷大田利津子(沖繩県子どもの本研究会) 眞栄城玄徳(くすぬち平和文化館館長)
- ⑧子どもとメディア
▷宜野座智子(沖繩なは子ども劇場) 田仲由紀子(子育て情報ういず) 山崎新(沖繩大学学生支援GP)
- ⑨障がいのある子に豊かな育ちと学びを
▷横山正見(沖繩大学)
- ⑩発達障がいへの受容と支援の広がり
▷新垣道代(沖繩子ども研究会) 海野高志(沖繩子ども研究会)
- ⑪子どもと学校
▷奥平一(沖繩子ども研究会) 喜瀬乗進(日本教育カウンセリング協会) 長堂登志子(沖教組那覇支部)
- ⑫共に育む子どもの学びの「場」
▷盛口満(沖繩大学)
- ⑬憲法・子どもの権利条約
▷吉葉研司(琉球大学准教授)
- ⑭子どもと基地・暴力
▷嘉納英明(名桜大学准教授) 高里鈴代(基地・暴力を許さない女たちの会)
- ⑮子どもの悩みにどう答えるか
▷比嘉昌哉(沖繩国際大学准教授) 名城健二(沖繩大学准教授)
- ⑯若ものと社会
▷大城喜江子(NPO法人なはまちづくりネット)